

「させぼ温州」の果実特性						
<p>[要約] 「させぼ温州」の果実は、<u>成熟期</u>が11月下旬で、夏秋期（8月中旬～収穫時）にマルチ栽培を行い、乾燥ストレスを付与すると、<u>高糖度</u>になりやすい。糖度の高い果実は、<u>果皮色</u>の橙色が濃く、じょうのう膜が薄い。また、果形はやや扁平で<u>浮き皮</u>の発生は少ない。</p>						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	普及
平成10, 11年度長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

佐世保地域で「宮川早生」の枝変わりとして発見され、無毒化された「させぼ温州」の果実特性を明らかにする。

調査地点の概要

品種及び区分	樹 齢	マルチ の有無	圃場の場所
させぼ温州 A*	6年生	有	江上地区北部
させぼ温州 B*	6年生	無	同上
させぼ温州 C	高接ぎ11年生	有	江上地区南部
させぼ温州 D	高接ぎ4年生	有	針尾地区西部
させぼ温州 E	高接ぎ3年生	有	江上地区西部
させぼ温州 F	4年生	有	針尾地区南部
原口早生 A	8年生	有	江上地区北部
原口早生 B	高接ぎ10年生	有	針尾地区東部
大津4号 A	8年生	無	江上地区北部

* 平成8年度までは採穂園として使用

[成果の内容・特徴]

- ① 「させぼ温州」の果形指数は、「原口早生」と「大津4号」の間で、果皮色は「大津4号」に比べ、橙色が濃く、浮き皮果は「原口早生」「大津4号」に比べ発生が少ない。
(表1)
- ② 「させぼ温州」は、夏秋期（8月中旬～収穫時）にマルチ栽培を行い乾燥ストレスを付与すると、夏期に降雨が多い年でも「原口早生」に比べ糖度が高くなりやすい。(表2)
- ③ 「させぼ温州」の果実は、糖酸比と酸含量から推察すると、成熟期が11月下旬で、高糖度の果実は、じょうのう膜がうすい。(表3)

[成果の活用面・留意点]

- ① 「させぼ温州」の果実特性を発揮するためには、夏期から収穫時まで乾燥ストレスを与える必要がある。

[具体的データ]

表1 果実の形質

調査地点	年度*	1果実重 (g)	果径指数	果肉歩合	着色歩合	果皮色 [†]	a/b値 [†]	浮き皮 [‡]
させぼA	10	136	129	78	10.0	8.8	0.52	0.1
させぼB	10	130	133	78	10.0	8.3	0.48	0.1
させぼC	10	146	139	79	10.0	9.3	0.58	0.0
させぼD	10	114	144	78	10.0	9.4	0.59	0.1
原口A	10	137	136	76	10.0	9.3	0.61	0.1

させぼA	11	142	136	79	9.7	9.4	0.55	0.1
させぼB	11	147	134	79	9.7	9.1	0.53	0.1
させぼC	11	129	127	80	9.9	9.2	0.57	0.1
させぼD	11	114	135	82	9.9	9.2	0.56	0.0
させぼE	11	104	136	83	10.0	9.1	0.55	0.0
させぼF	11	125	129	83	10.0	9.2	0.55	0.0
原口A	11	124	128	78	10.0	9.1	0.55	0.3
原口B	11	130	128	78	10.0	9.7	0.58	0.5
大津A	11	139	147	76	9.8	8.4	0.50	0.3

* 調査日 10年度 11月20日 11年度 11月30日 (原口A 11月20日)

[†] カラチャート値

[‡] 色差計による果皮色測定数値

* 浮き皮発生指数 = Σ (指数 × 発生果数) / (3 × 調査果数)

表2 果肉品質

調査地点	年度*	糖 度	酸含量 (g/100ml)	糖酸比	果肉色 [†]	じょうのう厚さ [‡] (mm)
させぼA	10	11.7	1.0	12.3	0.36	0.17
させぼB	10	10.4	0.9	11.6	0.36	0.17
させぼC	10	13.6	1.0	14.7	0.39	0.16
させぼD	10	14.6	1.2	12.8	0.37	0.15
原口A	10	11.8	0.7	16.6	0.36	0.12

させぼA	11	10.6	1.0	11.0	0.37	0.21
させぼB	11	10.0	1.0	11.2	0.35	0.22
させぼC	11	12.7	0.9	13.2	0.40	0.17
させぼD	11	13.5	1.0	14.2	0.40	0.19
させぼE	11	12.7	1.0	14.1	0.41	0.18
させぼF	11	13.8	0.9	13.4	0.40	0.19
原口A	11	10.7	0.8	13.4		
原口B	11	12.2	0.7	18.9	0.41	0.18
大津A	11	11.2	1.0	11.5	0.36	0.25

* 調査日 10年度 11月20日 11年度 11月30日 (原口A 11月20日)

[†] 色差計による測定数値

[‡] 農業用厚さ計 (富士平工業) による測定値

[その他]

研究課題名 : させぼ温州の早期樹冠拡大と高品質果安定多収技術

予算区分 : 県単

研究期間 : 平成10~11年度 (平成10~15)

研究担当者 : 高見 寿隆

発表論文等 : なし